

紛争下の子どもの権利侵害

世界中で起きている紛争や武力衝突下で、
子どもに対する深刻な人権侵害が繰り返されています。
2023年に国連が検証した、紛争下における子どもに対する重大な権利侵害*は、
26の紛争地域で3万2,990件に上り、過去最多となりました。
紛争により、真っ先に被害を受け、影響を最も長く受け続けるのは子どもたちです。
ユニセフは、いかなる緊急事態下においても、
支援物資や心のケア、教育の機会の提供などを通じて、すべての子どもの命と権利を守り、
子どもたちが未来を築いていけるように支援活動をおこなっています。

家族の中で ただ1人生き残って

パレスチナ、ガザ地区。すさまじい勢いで破壊が進むなか、子どもたちは大きな苦しみに耐え続けています。2023年だけでも、4,312人のパレスチナの子どもが死傷したと確認されましたが、瓦礫の下敷きになり、消息不明となった何千人の子どもたちはこの数字には含まれていません。自宅で家族と寝ている間に爆撃にあった4歳のシラちゃん「目を覚ますと、足が焼けてものすごく痛かった。でもお医者さんが来て、痛いところを切ってくれたの」。両親と3人の姉妹をなくし、右足を失った彼女はいま、祖母や叔母とともに学校で避難生活をしています。
「友達のように歩きたいから、義足が欲しい」



© UNICEF/UNI589816/Subich



© UNICEF/UNI578624/Benckire

絶望の中から、希望を見つける

コンゴ民主共和国では、東部での紛争の激化により700万人が家を追われました。国連は、2023年だけで女の子に対する性的暴行、集団性的暴行、強制結婚、性奴隷化などの子どもに対する重大な権利侵害を281件確認しました。武装集団の手口としての性暴力は急増しています。避難先で、複数の男性から性的暴行を受けたグレースさん(写真左)。生きる気力をなくしていたときに、ユニセフが支援している職業訓練プログラムで裁縫を学び、自宅で裁縫の仕事ができるようになりました。「私が最初に縫ったものは父のシャツでした。そのことをとても誇りに思っています」

「同じような経験をした女の子に、希望があると伝えたい」

*紛争下における子どもに対する重大な権利侵害とは、
1) 子どもの殺傷、2) 徴兵と利用、3) 性的暴力、4) 拉致・誘拐、5) 学校や病院への攻撃、6) 子どもへの人道支援の妨害をさします